



食環境と持続可能な食料消費に関する国際分析

令和7年 **10月7日** 火

15:30~17:15

(15:15よりウェビナーに入れます)

本研究成果報告会では、健康的な食とエシカル消費に着目し、世界8か国（セネガル、ケニア、中国、インド、アメリカ、アルゼンチン、フランス、ドイツ）の都市住民の食意識と食環境に関する多国間分析の結果などを報告します。

プログラム

1. 食環境と社会・経済的環境が持続可能な食料消費に及ぼす影響評価 —8か国比較による考察—

丸山優樹（農林水産政策研究所食料領域研究員）

2. 持続的食料システムの構築に関する国際比較研究 —アルゼンチン編—

田澤裕之（全国農村振興技術連盟 企画部長）

3. ドイツにおける健康的な食品摂取と食意識

飯田恭子（農林水産政策研究所国際領域上席主任研究官）

4. ケニアにおける農業開発・食料消費の現状と課題

伊藤紀子（拓殖大学政経学部准教授）

5. 国際分析に対するコメント —中国—

百崎賢之（農林水産政策研究所国際領域主任研究官）

6. 国際分析に対するコメント —フランス—

須田文明（法政大学イノベーション・マネジメント研究センター 客員研究員）

まとめ

飯田恭子（農林水産政策研究所国際領域上席主任研究官）

司会：山本祥平（農林水産政策研究所食料領域主任研究官）



<開催案内>



<参加登録フォーム>

参加方法：

参加費は無料ですが、事前に参加申込が必要です。

参加を希望される方は、右のQRコードまたは以下のページ内リンクより、お申込みフォームにご登録ください。

詳細：<https://www.maff.go.jp/primaff/koho/seminar/2025/20251007.html>

申込締切 10月5日(日)